

「TOPO GIGIO (トッポ・ジージョ)」 日伊親善大使に就任！

東北新社(東京都港区 植村徹社長)が国内ライセンス権を所有する「TOPO GIGIO(トッポ・ジージョ)」は、日伊親善大使に就任しました。

これは、日本国内およびイタリア共和国内の長年にわたる活躍と、両国の文化交流に貢献し、多くの人々に支持されてきたことを称して、イタリア大使館でヴィンチェンツォ・ペトロネ駐日大使から日伊親善大使を任命されたものです。

本年、TOPO GIGIO は日本上陸45周年を迎え、彼の故郷であるイタリア共和国は領土統一150周年を迎えました。秋には通算3回目のキャンペーンとなる「日本におけるイタリア年」をはじめ、多くのイタリア関連イベントが実施される予定となっています。ともに記念の年を迎え、TOPO GIGIO は日本とイタリアの架け橋となるべく、親善大使として幅広く活動を行っていきます。

日伊親善大使 TOPO GIGIO のこれからの活躍にご期待ください！

■TOPO GIGIO(トッポ・ジージョ)

原作はマリア・ペレゴ。本名「トッポ・ルイス」で「ジージョ」は愛称(トッポとはイタリア語で「ねずみ」の意味)。1959年、イタリアの国営テレビ番組でデビューし、名セリフ「コーザ・ミ・ディチ・マイ(何てこったい)！」で人気を獲得。その後、アメリカのバラエティ番組「エド・サリバンショー」にも1年間レギュラー出演した経歴をもち、イタリア下町発のおとぼけキャラクターは、今もなお、世界中で愛され続けています。

【公式HP】 <http://www.topo-gigio.jp>



左よりヴィンチェンツォ・ペトロネ駐日大使、TOPO GIGIO、植村徹東北新社社長



© MARIA PEREGO